

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新座校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションを使用し、独立した部屋があるため個別支援に適切なスペースが確保されている。お子様の特性に合わせて支援室を使い分けるなどの工夫をしている
	②	職員の配置数は適切であるか		○		法令等に遵守し配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			内部はバリアフリーでつまづく場所はないが、玄関先に、階段があるため、来所時・帰宅時にお子様がつまずいてしまわないよう、声かけを行うなどの工夫をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝終、運営・営業会議、モニタリングを通して行っている。定期的にミーティングを行うなどし、情報共有し改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			支援後等のフィードバックや、イベント（親カフェ）に関するアンケートを行い保護者の意見をお聞きしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			開所 1 年の教室であるため、今年度が初めての公表である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は実施していない。今後の実施予定については未定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の法人内の研修を受講している。新座市こども部会主催の分科会などにも定期的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			法令等に則りアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。日々の支援から保護者の聞き取りを行った上で、職員間でも分析を行い計画の作成にあたっていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			半年ごとにアセスメントシートを用いて状況を把握・更新している。職員全員で確認し、実施するように努めていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的なミーティングや支援記録で情報共有を図り、全指導員共通認識の元、プログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			担当制をとらずに様々な視点で支援にあたっている。担当制ではないため各指導員の目線から支援を行うことで、お子様の状況、適切な支援について日々改善を繰り返していく。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中は、普段の個別指導に加え、学校の宿題を持ってきてもらうなど、学校での学習の様子を把握している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			状況に応じて集団での活動を取り入れ、個別だけでなく全体を通して計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼ミーティング等でその日の支援について支援の打ち合わせを行っている。全職員で共通認識を図っていけるよう、情報共有の場を継続して設けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			できるだけすぐにミーティング等を開き共有する。その日のうちに全職員での共有が難しいときには、翌日の朝礼や社内ツールを用いて共有するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			社内ツールにて確実に作っている。記録漏れがないことを定期的を確認している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画期間終了を目的に、モニタリングを実施し聞き取りをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則を念頭に置いてプログラムを工夫している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管、指導員ともに、参加できる際はしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要に応じて行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当児童がない為、未実施。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者からの要望に応じて保育園など関係機関に訪問するなど、情報共有を行うよう努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ卒業生を出していないが、卒業を見越して保護者や相談事業所と連携を図っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターや、児発の他事業所へ見学に伺い、情報共有の場を設けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	未実施。要望があれば交流を検討。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的開催されているものに、参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回のFBを通し、家での様子や課題を再確認している。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	事業所としてはまだ実施していないが、こども部会での研修等は受講しているため、今後実施していく予定。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定、利用者負担については、ご契約時にご説明している。その後も問い合わせに対応している。
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時相談があった際に、周りの状況に応じて環境に配慮しながら対応を行っている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		イベント時に保護者同士で話し合う時間や、イベントで親カフェを開催している。アンケート等により保護者のご要望を聞きながら活動を継続していく。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事例があった場合はミーティング等でその後の対応を決め保護者にお伝えしている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報ではないが、LINE、インスタグラム、ブログを介して紹介や告知などを行っている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のかかるロッカー又はキャビネットにしまい保管に努めている。SNS等に掲載する写真に関しても、保護者への確認を一人ひとり行っている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ご要望によっては、LINEやメモなどの文章にして意思疎通をとるなどの工夫をしています。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	まだ、地域と関わる行事は未実施。地域のお祭りの際にチラシを配布させてもらったり、町内会長さんへイベントのお知らせをさせていただいたりしている。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			訓練は、月に1回実施しているが、ご利用様参加型のものが行えていない為、実施できるように努めていく。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回実施している。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1度以上実施している。 こども部会の研修に参加している。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当する利用者様には契約時などにご説明している。今後は書類でサインを頂くようにしていく。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	該当する利用者様には契約時などにご説明している。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット用ファイルを作成し、事案発生時には報告書を作成し、職員全員で共有に努めている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新座校

保護者等数（児童数）：17 回収数：13

割合： 76%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	→ お子様の状況に応じて、適切な支援スペースを確保させていただいております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	→基準人員＋加配人員で対応しています。今後も職員と利用者のバランスが保てるように継続していく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	6	2	→玄関先に、階段がありますが、来所時・帰宅時にお子様がつまずいてしまわないよう、声かけを行うなどの工夫をしています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	1	0	→モニタリングやアセスメントを行い、支援のお子様の様子を踏まえて計画書を作成しています。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	→担当制ではないため各指導員の目線から支援を行うことで、お子様の状況、適切な支援について日々改善を繰り返していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	7	6	イベント等で他の利用者の方との交流があり、十分かなと思います。 →今後も他の利用者様と参加できる小集団イベントを開催して参ります。ご要望に応じて今後対応していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	2	0	初回の説明に関して、こちらから確認しないとよくわからないこともあった。 →説明漏れがないよう、丁寧な説明に努めてまいります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	→支援後のFBを通じて、利用児に対しての情報共有を密に行っています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	考えるのが卒業後のことなので、なかなか難しい部分がある。 →保護者様や相談支援事業所等と連携し情報共有を図っていき、少しでも卒業後のお手伝いができるよう努めて参ります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の	3	8	2	お知らせは見たが、どのような形で開催されていたのか分からない。

	開催等により保護者同士の連携が支援されているか				→「親カフェ」などのイベントに関して告知だけではなく、開催した際には、SNS等で様子を発信していきます。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	4	0	職員の方の普段の対応から、適切に対応しているように思う。 →引き続き適切に真摯に適切に対応して参ります。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	→支援後のFBでの情報共有や、LINEを活用した連絡を行っています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2	0	→Instagram、ブログ、チラシにて活動概要や行事予定を発信しています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	11	1	1	支援かごの中にあるお子さんの名前等が見える状態で置かれていた。 →大変申し訳ございません。教室内の支援教具などに関しても、個人情報に十分に注意して参ります。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1	0	→マニュアルについては作成し保管。保護者に対しても契約時に説明を行っています。防災訓練は定期的実施しています。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	6	1	→毎月1回防災訓練を行っています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	子どもの好きなYouTuberの話など楽しそうに聞いてくださるので毎回通うのが楽しみにしている。→今後もお子様に寄り添い、関係性を築いた上で支援にあたって参ります。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	10	1	0	子どもが荒れてしまっても、色々に対応していただき感謝しています。 →今後もお子様に寄り添い、関係性を築いた上で支援にあたって参ります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。